

第 11 回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和 4 年 9 月 14 日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、永井仁美委員、
吉野敬昌委員、谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長、金子医療安全管理センター長、
宮崎浩彰医療安全管理部部長、藤原宏司事務部長代理

【事務局】総合企画室 齋藤

議 事：

1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部部長から、資料に沿って次の 4 つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

- ・麻薬の紛失が 2 件あった。他病院では麻薬と認識せず、取り扱っているケースもあった。

(回答) 大阪府からも厳しい指導を受けた。麻薬を赤色チャック付きビニール袋に入れて管理・保管する運用方法への変更や注意喚起を促すため、麻薬の取り扱いに関する研修を行い、再発防止に取り組んでいる。

- ・診療所から大学病院に送った患者が大学病院からの診断結果を覚えてなく戻ってくる患者が多々いる。高齢者が多い実態もあるが。

(回答) がんの告知等重要事項は医師だけでなく看護師も補助につけ、診断結果を理解頂くよう取り組んでいる。しかし、そのような実態があるのであれば、課題として検討する。

- ・医療の DX の進捗は

(回答) 国は患者の診療情報をマイナンバーを通して、どの病院でも見られるようにする方針だ。本学では理事長直轄「スマート病院構想作業部会」を 3 年前に立ち上げ検討を進めている。附属病院は 1 年半後に電子カルテの全面改訂を行い、国の求める体制を整える。同時に、セキュリティの確保を前提として、システムを大幅に改訂する。

次回開催日について

令和 5 年 3 月 1 日（水）14：30 から

以 上